

「原料費調整制度」等による適用ガス料金の調整について (2026年1月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」等に基づき、2026年1月に適用する1m³当たりの単位料金を、2025年12月検針分に適用の料金に比べ1.03円(消費税込)下方に調整させていただきます。調整は、検針月の5か月前から3か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2026年1月検針分の単位料金は、2025年8月から2025年10月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に32m³(45MJ/m³)のガスをお使いになる標準家庭で、2025年12月検針分に比較して、33円(消費税込)ガス料金が下がります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/m ³)		基準単位料金 (円/m ³)
			2026年1月適用 単位料金(円/m ³)	2025年12月適用 単位料金(円/m ³)	
料金表A	0m ³ から20m ³ まで	814	201.95	202.98	160.00
料金表B	20m ³ をこえ50m ³ まで	1,329	176.15	177.18	134.20
料金表C	50m ³ をこえ200m ³ まで	1,632	170.10	171.13	128.15
料金表D	200m ³ をこえ450m ³ まで	3,214	162.20	163.23	120.25
料金表E	450m ³ をこえ750m ³ まで	5,402	157.32	158.35	115.37
料金表F	750m ³ をこえるもの	10,847	150.08	151.11	108.13

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	2026年1月検針分の料金	2025年12月検針分の料金	影響額
32m ³ (45MJ/m ³)	6,965円	6,998円	▲33円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
2025年8月～2025年10月の 平均原料価格 (b)	83,650 円/t
LNG価格	82,880 円/t
LPG価格	78,320 円/t
差額 (b-a)	48,950 円/t

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0858円(0.078円に1.10(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。

単位料金調整額の算定方法

- ・平均原料価格の算定

LNG平均価格	(貿易統計ベース)	82,880 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	78,320 円/t	×
				0.0513
				83,648.920 円
				↓ (10円未満四捨五入)
				83,650 円/t

- ・原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$83,650 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 48,950 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)
48,900 円/t

- ・単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 48,900 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0858 = 41.9562 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)
41.95 円